



KITA 研修実績

2020 年度（JICA 遠隔研修）



2020 年度下期に実施しました JICA 遠隔（リモート）研修コースの実績報告です。

新型コロナウイルスの感染拡大と長期化で 2020 年度は JICA 来日研修が全て中止となり、急遽下半期から遠隔研修コースへの切り替えが決定しました。KITA では遠隔研修としてオンデマンドとライブの 2 方式を採用し計 22 の遠隔研修コースを実施しました。

公益財団法人 北九州国際技術協力協会

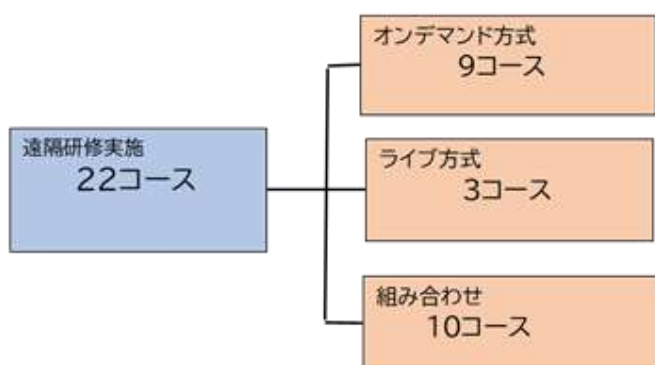
2021 年 6 月 25 日

1. 2020年度 JICA : 遠隔 (リモート) 研修コース一覧

| No. | コース名 | コースリーダー | 技術研修期間 | | 研修形態 | | 参加国数 | 研修員数 |
|-----|---------------------------------|---------|------------|------------|--------|-----|------|------|
| | | | 研修開始日 | 研修終了日 | オンデマンド | ライブ | | |
| 1 | 先進国市場を対象にした輸出振興/マーケティング戦略(E) | 北村 隆 | 2020/11/16 | 2020/12/18 | ○ | | 5 | 6 |
| 2 | 先進国市場を対象にした輸出振興/マーケティング戦略(C) | 中島 康紀 | 2020/11/16 | 2020/12/18 | ○ | | 2 | 3 |
| 3 | 再生可能エネルギー導入計画(B) | 中村 博 | 2021/1/11 | 2021/2/5 | | ○ | 8 | 10 |
| 4 | 水環境行政(計画・分析) | 貴戸 東 | 2021/1/12 | 2021/2/12 | ○ | | 2 | 5 |
| 5 | リサイクル推進による循環型社会構築に向けた廃棄物の適正処理技術 | 指輪 勤 | 2021/1/12 | 2021/3/12 | ○ | △ | 9 | 32 |
| 6 | 持続的な都市開発のための都市経営(A) | 山根 信 | 2021/1/14 | 2021/2/5 | ○ | ○ | 7 | 7 |
| 7 | 分散型汚水処理システム導入・普及 | 緒方 信一 | 2021/1/25 | 2021/2/19 | ○ | | 6 | 9 |
| 8 | エネルギーの高効率利用と省エネの推進(A) | 緒方 勤 | 2021/1/26 | 2021/3/15 | | ○ | 7 | 11 |
| 9 | 職業訓練の運営・管理と質的強化(C) | 宍竹 岩夫 | 2021/1/28 | 2021/2/26 | ○ | △ | 4 | 5 |
| 10 | エネルギーの高効率利用と省エネの推進(B) | 川口 健二 | 2021/2/1 | 2021/3/5 | ○ | △ | 7 | 11 |
| 11 | 下水道システム維持管理(B) | 貴戸 東 | 2021/2/1 | 2021/2/26 | ○ | | 3 | 4 |
| 12 | アフリカ地域 村落飲料水管理(B) | 原口 清史 | 2021/2/1 | 2021/2/26 | ○ | △ | 7 | 10 |
| 13 | 品質管理・生産性向上(日本的ものづくり) | 鳥飼 久敏 | 2021/2/2 | 2021/3/2 | | ○ | 4 | 8 |
| 14 | 掘削マネージメント | 高崎 義則 | 2021/2/7 | 2021/2/21 | ○ | ○ | 5 | 14 |
| 15 | コンポスト事業運営 | 山下 俊郎 | 2021/2/8 | 2021/3/5 | ○ | △ | 6 | 6 |
| 16 | 統合水資源管理(A・B) | 緒方 信一 | 2021/2/15 | 2021/3/11 | ○ | | 7 | 7 |
| 17 | 再生可能エネルギー導入計画(B)※2019年度 | 中村 博 | 2021/2/15 | 2021/3/12 | ○ | ○ | 7 | 8 |
| 18 | 先進国市場を対象にした輸出振興/マーケティング戦略(B) | 窪田 琢也 | 2021/2/15 | 2021/3/15 | ○ | | 4 | 6 |
| 19 | アフリカ地域 起業家育成・中小零細企業活性化 | 中島 康紀 | 2021/2/15 | 2021/3/15 | ○ | | 5 | 6 |
| 20 | 有害廃棄物の処理・処分における適正処理技術の推進 | 原口 清史 | 2021/2/22 | 2021/3/5 | ○ | | 7 | 7 |
| 21 | 持続的な都市開発のための都市経営(B) | 高崎 義則 | 2021/3/2 | 2021/3/19 | ○ | △ | 5 | 8 |
| 22 | 再生可能エネルギー導入計画(A) | 植山 高次 | 2021/3/19 | 2021/4/21 | ○ | ○ | 8 | 9 |

△ : ライブ併用 (コースオリエンテーション、討議、振り返り等)

| 研修方式 | 研修方法 | 長所 |
|--------|--|------------------------------|
| オンデマンド | 映像字幕挿入、あるいは PowerPoint の講義資料に翻訳音声吹き込み YouTube で研修員へ配信する。 | 研修員が自由な時間に何回でも視聴でき、時差の問題がない。 |
| ライブ | ZOOM であらかじめ準備した講義資料をプレゼンする。リアルタイムに質問・討議を行う。 | 研修員・講師・コースリーダー、直接対話できる。 |



ライブで海外研修員と討議中のコースリーダーとコーディネーター

ZOOM／ライブ研修に参加した海外研修員とスタッフのスクリーンショット

日頃、コースリーダーの皆さんは、ZOOM 会議には招待される側（参加者）の立場で会議に参加するケースが多く、今回初めてホストとして役割を担ったメンバーもおられました。

～慣れない ZOOM でのホスト役、大変お疲れ様でした～

コース名は略称



廃棄物の適正処理技術（指輪 CL）



コンポスト事業運営（山下 CL）



村落飲料水管理 B（原口 CL）



職業訓練の運営（有竹 CL）



品質管理・生産性向上（鳥飼 CL）



エネルギーの高効率 A（緒方勲 CL）



エネルギーの高効率 B（川口 CL）



再生可能エネルギーA（植山 CL）



再生可能エネルギーB（中村 CL）



掘削マネジメント（高崎 CL）



持続的な都市開発 A（山根 CL）

長引くコロナ感染問題から、2021 年度の JICA 研修は全てのコースが遠隔（リモート）で実施することになり、33 の研修コースが遠隔で実施予定です。また、2021 年度は遠隔研修をさらに有意義なものとするために企業訪問・見学を織り込んだカリキュラムを検討します。来日研修と同じように中身の濃い遠隔研修とし、海外から参加する研修員が、さらにスキルアップするよう推進します。